

情報通信審議会 情報通信技術分科会 電波有効利用委員会（第8回）

議事要旨

1 日時

令和7年12月3日（水） 13時00分～14時00分

2 場所

WEB会議

3 出席者（敬称略）

構成員：

藤井威生（電気通信大学先端ワイヤレス・コミュニケーション研究センター教授）、太田香（東北大学大学院情報科学研究科教授）、大谷和子（株式会社日本総合研究所執行役員法務部長）、黒坂達也（株式会社企代表取締役/慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任准教授）、猿渡俊介（大阪大学大学院情報科学研究科准教授）、瀧俊雄（株式会社マネーフォワード執行役員）、西村真由美（公益社団法人全国消費生活相談員協会常務理事）、林秀弥（名古屋大学大学院法学研究科教授）、矢入郁子（上智大学理工学部情報理工学科教授）

総務省：

湯本総合通信基盤局長、翁長電波部長、小川電波政策課長、山野基幹・衛星移動通信課長、五十嵐移動通信課長、豊重電波政策課調査室長、金子電波政策課携帯周波数割当改革推進室長、宮澤重要無線室長、小原基幹通信室長、糸基幹・衛星移動通信課電波利用分析官、佐藤移動通信課移動通信企画官、影井新世代移動通信システム室長

4 配布資料

資料8-1 電波有効利用委員会報告（案）「周波数割当の在り方」（価額競争の実施方法）に提出された意見及び委員会の考え方（案）

資料 8-2 電波有効利用委員会報告（案）「周波数割当の在り方」（価額競争の実施方法）（概要）

資料 8-3 電波有効利用委員会報告（案）「周波数割当の在り方」（価額競争の実施方法）

資料 8-4 900MHz 帯を使用する新たな無線利用について（論点整理）

参考資料 8-1 第 7 回電波有効利用委員会議事要旨

参考資料 8-2 今後の想定スケジュール

5 議事要旨

（1）開会

（2）委員会報告（案）「社会環境の変化に対応した電波有効利用の推進の在り方」のうち「周波数割当の在り方」（価額競争の実施方法）に対する意見募集の結果について

資料 8-1 及び資料 8-3 に基づき、事務局から説明が行われ、（案）のとおり承認された。また、資料 8-2 についても特段の意見なく承認された。承認された委員会報告について、次回の情報通信技術分科会に報告することとなった。

（3）900MHz 帯を使用する新たな無線利用について

資料 8-4 に基づいて事務局から説明が行われ、案のとおり検討が進められることとなった。

（猿渡専門委員）

ヒアリングの観点に関しては完全に同意する。ヒアリングの提案者への要望として、市場規模・経済効果の観点についてざっくりとしたものを上げてくる方が多いが、日本の国益にどのくらい資するかに注意して御説明いただきたい。特に日本の機器ベンダーへの効果、例えば新規開発の誘発や輸出競争力への波及を考慮して語っていただきたい。また、国内のサービス提供者である通信事業者やソリューション事業者に対して、どのくらい経済的な効果があるか。さらに、日本のユーザー、例えばサービスの先にある運送会社に対して、新しい DX や IoT の流

れによってどういう経済効果があるか。これら三つをしっかりと分け、整理して御説明いただけるとありがたい。

(藤井主査)

本周波数帯域の高度 MCA を導入する際、上り回線でのリソースブロック制限等、技術的な制約事項がある帯域である。そのため、今回の提案がこのような制約で運用されている状況を鑑みてどのように利用できるか、それによる影響はないか、御説明いただきたい。

特に、隣接する携帯電話の下り回線との相互干渉の影響をどう避けるかが問題となりうるため、その点は少し配慮いただいたかたちで、提案内容の説明をお願いしたい。

(4) 閉会